

海外渡航に際し考慮すべき予防接種の回数と有効期限

予防接種	接種回数	接種日	有効期間
黄熱 ¹⁾	1回		生涯
A型肝炎	3回	初回、2～4週後、半年～1年後	5～10年間
B型肝炎	3回	初回、4週後、半年～1年後	10年以上
破傷風 ²⁾	3回	初回、4週後、半年～1年後	10年間
狂犬病 ³⁾	3回	初回、4週後、半年～1年後	2年間
ポリオ ⁴⁾	2回	初回、6週後	10年以上
日本脳炎 ⁵⁾	3回	初回、1～4週後、1年後	4年間

1) 黄熱：入国に際し、黄熱予防接種証明書が必要とする国があります。

2) 破傷風：1968年（昭和43年）以降生まれで、小児期に3種混合ワクチンを受けていれば、1回の追加接種をします。（12歳で破傷風・ジフテリアワクチン接種を受けていれば、20歳代前半まで免疫があり、追加接種は不要です。）

3) 狂犬病：3回のワクチン接種後に咬まれた場合は、さらに追加接種が必要です。

4) ポリオ：大人は通常1回の追加接種のみを行います。1975年（昭和50年）～1977年（昭和52年）生まれの人は、免疫が低く、渡航先が流行国でなくても追加接種が勧められています。

5) 日本脳炎：大人は通常1回の追加接種のみを行います。

複数回接種の必要なワクチンは、出国までに少なくとも2回までは終了したほうが良いとされています。余裕をもって計画を立てる必要があります。

海外旅行者の予防接種Q&A 厚生労働省科学研究費補助金・新興再興感染症研究事業 海外渡航者に対する予防接種のあり方に関する研究班 (http://www.kawasaki-m.ac.jp/soc/travel-vaccine/?page_id=3) と一部、厚生労働省検疫所ホームページFORTHより